



じんけんへいわしりょうかん
人権平和資料館だより

2025^{ねん}（令和^{れいわ}7^{ねん}）7^{がつ}月

HUMAN RIGHTS & PEACE

だいごう
第298号

〒720-0061

ふくやましまるのうち
福山市丸之内1-1-1

TEL 084-924-6789 FAX 084-924-6850

じんけんへいわ
人権と平和は

せい
21世紀のキーワード

jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp

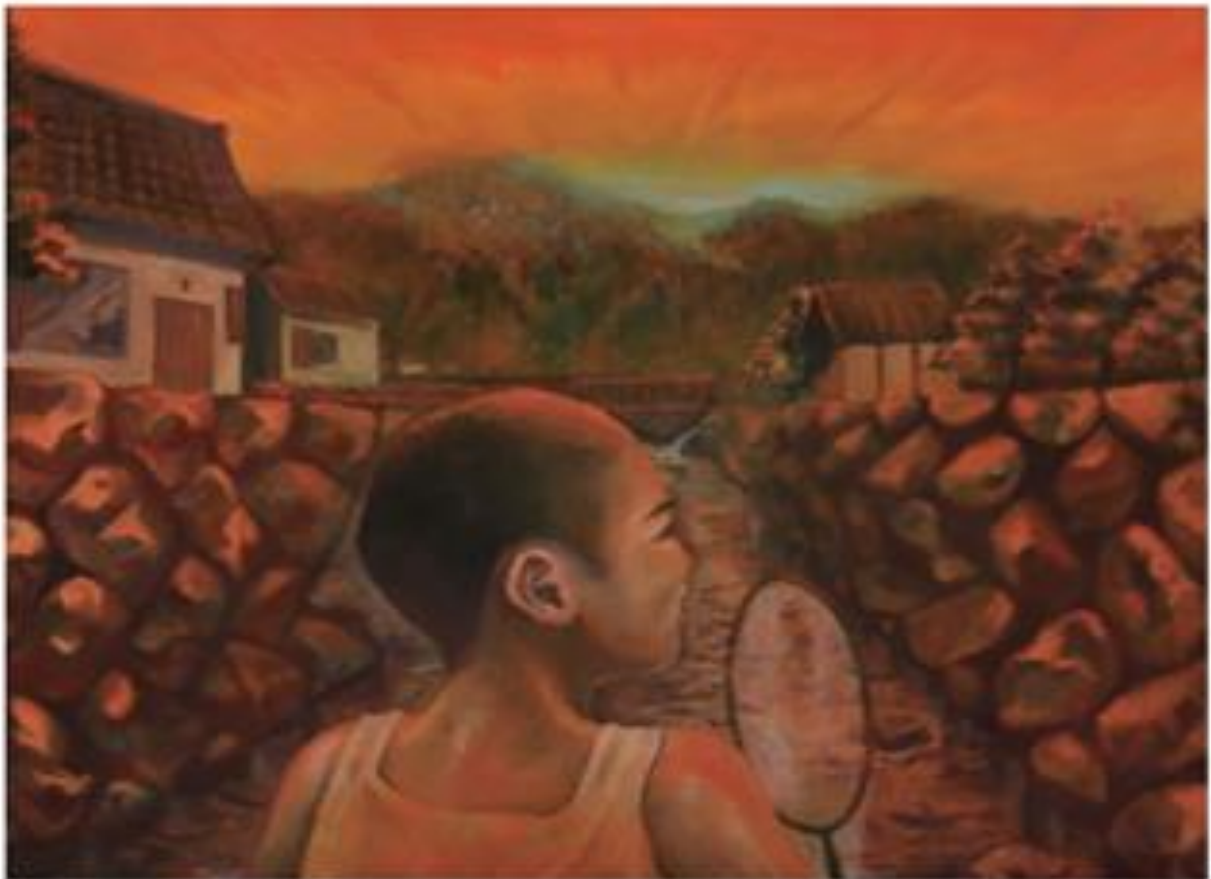
ひばくねんきかく
被爆80年企画

げんばくえふくせいがてん 「原爆の絵」複製画展パートII

ふし
～父子のわかれ～

きかん
期間

がつかにちがつかにち
7月6日（日）～9月7日（日）



せんこうはししゅんかんのふうけい
「閃光が走った瞬間の風景」 作/証言者：廣中まさき 制作者：木原結愛 所蔵/ひろしまへいわきねんしりょうかん
人権平和資料館

じんるいしじょうはじひろしまげんばくとうか
人類史上初めて広島に原爆が投下されて80年。核兵器の恐怖と、その非人道性を知る
わたし
私たちには、核兵器の廃絶と真の恒久平和の実現を訴え続けていかなければならない
しめい
使命があります。昨年10月に発表されたノーベル賞では、日本の被団協がノーベル平和
しょうじゅしょう
賞を受賞しました。このことは、ロシア軍のウクライナに対する軍事侵攻や、ガザ地区
うらゆんつづ
裏面に続く

でのイスラエルとハマスの戦闘など、核兵器使用の危機が現実^{せんとう}に迫^{かくへいきしやう}ってきている表^きれとも捉^{げんじつ}えることができます。唯一^{せま}の被爆国である日本^{あらわ}の核兵器廃絶^{とら}に対する真価^{ゆいいつ}が問^{ひばくこく}われています。そのような情勢^{にほん}の中で、今回の企画展^{かくへいきはいぜつ}においては、福山市在住^{たい}の被爆体験証言者^{しんか}の廣中正樹^とさんに焦点^{じやうせい}を当てて「原爆の絵」の複製画^{なか}を展示^{こんかい}します。廣中さんは5歳^{きかくてん}の時に爆心地^{ふくやましざいじゅう}から約3.5 kmの己斐町^{ひばくたいけんしやうげんしや}で自宅^{ひろな}近くの小川^えで遊^{ふくせい}んでいる最中^{てんじ}に原爆^{ひろなか}に遭^{さい}いました。廣中さんはその日^{とき}の夕方^さお父さん^{むすう}と再会^ひしますが、お父さんは背中^{ゆうがた}に刺^{とう}さった無数^{さいかい}のガラス片^{せなか}を満足^きに取ることもできず^なに翌日^{よくじつ}亡^なくなります。この2日間^{つかかん}の出来事^{できごと}を中心^{ちゆうしん}に広島市立基町高校美術部^{ひろしましりつもとまちこうこうびじゅつぶ}の生徒さん^{せいと}が10枚^{まい}の絵^えに再現^{さいげん}しました。この絵^えを中心^{せんかい}に、前回^{てんじ}展示^{げんぱく}できなかった原爆^えの絵^{ふくせい}の複製画^{てんじ}を展示^{かくせんそう}します。核戦争^きの危機^{せま}が迫^{なか}る中で私^{わたし}たち一人^{ひとり}ひとりが、「生命^{せいめい}の尊厳^{そんげん}」と「平和^{へいわ}の大切^{たいせつ}さ」についてあらためて見^みつめなおし核兵器廃絶^{かくへいきはいぜつ}に向けて何^むができるか考^なえる機会^{かかん}となればと思^{おも}っています。



「人間檻樓の群れの中に」

作/証言者：児玉光雄 制作者：津村果奈

所蔵/広島平和記念資料館



「焼けた電車内、逃げる間もなく死んでいった二人の亡骸」

作/証言者：浅野温生 制作者：桐林 勲

所蔵/広島平和記念資料館



映画「ひろしま」の一場面

広島市民による魂の訴えが込められた衝撃作！

被爆から8年後の広島で制作された原爆の惨状を訴える映画「ひろしま」は、月岡夢路、岡田英二などの当時のスターが出演し、被爆者も含む延べ約9万人がエキストラとして参加しました。実際の被爆者の手記を原作にした、原爆投下直後の広島の様子がリアルに描かれた作品です。長く上映の機会がなく、幻の映画と言われていましたが、近年復活し、全国各地で上映が続いています。1955年ベルリン国際長編映画賞受賞。

映画会：「ひろしま」

日時：7月27日（日）

① 10:00~12:30

② 13:30~16:00

場所：福山市人権平和資料館

入場無料

講演会：「家族の記録『父子のわかれ』」

日時：8月24日（日）13:30~

講師：被爆体験証言者 廣中 正樹 さん

場所：福山市人権平和資料館

入場無料